

4. 各高校のミッションの見える化と 組織経営の改編

現実的にみて、高校のランキングやそれに伴う保護者の教育要求を看過することはできない。

高校ごとに、「市民教養の育成」を配分する比率の高い高校群と「高等教育への準備教育」を配分する比率の高い高校群を峻別して、高校ごとのミッションを明確にする必要がある。

これまでの「普通科」のイメージは残しつつも、上記の配分に応じて3パターンぐらいをモデル化して、各校に教育のミッションを明確にする作業を進めてもらう必要があるのではなかろうか。

高校教育ミッションの見える化

入学する生徒の学力水準のバラつきや
教育資源の違いによって、

高校によってやれることが変わってくる

「身の丈に合った実践」、それを評価できる仕組みを
作りたい

「地域の誇り」となれるような、地域密着型の、高校生の
の活力を感じてもらうメッセージを発信したい。

特に、OB・OGの声、先輩の活動などを活かして、同
窓としての力や可能性を期待できるようにしたい。

事例1：三多摩地区・都立高校

東京都立  高等学校

Tokyo Metropolitan  High School.



 から始まる未来、
輝け自分！




ようこそ、 高校公式ホームページへ！

本校の教育は、自ら考え、判断し、何事にも進んで取り組む意欲的で実行力のある生徒の育成を目指しています。そのために、学習面の充実を図り、部活動を活発にし、様々な学校行事・生徒会活動など生徒自らの手で企画し実行して行きます。教師は「厳しく、温かく、丁寧に」をモットーに、一人ひとりの生徒にゆきとどいた指導をしています。

 高ニュース

- 学校説明会にありがとうございました！本日の学校説明会に380組642名のご来校がありました。ありがとうございました。来年度は 高生の一員として勉強に、部活動に頑張っていることを期待しております。次回第3回学校説明会は12/11(土)です。詳しくはこちらをご覧ください。
- 男子バスケットボール部、新人戦で活躍！10/24法政大高に100-60、10/31中央大附に88-75、11/3日大鶴ヶ丘に77-71でそれぞれ勝利！1月の本大会出場が決定しました。
- 第1回学校説明会へのご来場、ありがとうございました！本日の説明会では382人の保護者、中学生を迎えて授業見学、全体会、部活動見学、個別相談がじびに終わりました。ありがとうございました。

更新履歴

11.1.17/校長通信「Solar Green第36号」を載せました。
11.1.17/校長通信「Solar Green第35号」を載せました。

あいさつ	概要	案内	学校生活
PDF書類	お知らせ	経営企画室より	同窓会のページ

お知らせ
ホームページのサーバー移行作業にあたり、23年1月中旬まで表示されないページのあることが予想されます。ご迷惑をおかけします。

事例2：宮城県・県立高校



単位制・二部制（昼夕間断授業）

宮城県 〇〇〇〇 高等学校

〒989-4308 〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇-〇〇〇〇

開校の理念

Change 自己変革
Challenge 事に挑戦
Career-up 生きる力を育てる
Communicate 地域とともに



Since 2008

Contents

- 学校長より
- 学校概要
- さくらStyle
- 教育課程
- 入試情報
- 学校生活
- 進路指導
- 社会人聴講
- 学校評価
- さくらサポーター
- PTA活動
- アクセス
- 事務関係

Topics

更新情報
さくら高祭
ギャラリー通信
入試関係

01/20 (木) さくら文化講演会の報告 (New!)

01/17 (月) 新春！文化講演会のご案内 (1月20日実施)

12/24 (金) ギャラリー通信1月号を公開

12/22 (水) 平成23年度社会人聴講生説明会の実施
募集概要説明・基調講演・現聴講生からの感想発表等を予定しています。

12/14 (火) さくらスポーツ講演会の報告

12/02 (木) さくらスポーツ講演会
12/6 (月) に開催
講師：オリックスコーチ 高代 延博氏

11/22 (月) 第3回考査日程発表
※詳しい内容は掲示板で確認すること

Schedule

1月24日	月	
1月25日	火	
1月26日	水	
1月27日	木	5・6カット
1月28日	金	特別時間割 5・6授業 入試準備
1月29日	土	
1月30日	日	
1月31日	月	推薦入試 生徒は休業日
2月1日	火	

Sakura Graphics



〇〇〇〇校は平成20年4月に開校した単位制・二部制の高等学校です。学校の風景・授業の様子をご覧ください。
(注) FlashPlayerが必要です。



グラウンド風景



さくらギャラリー



授業風景(陶芸)



第1回 さくら高祭

説明会を2月1日(火)に実施しま

2010年10月よりカウント開始

～アクセス数～

003179

Copyright(c) 2008 Miyagi Prefectural 〇〇〇〇 High School
本校のホームページに記載されている内容の無断転載・転用を禁止します。

学校組織の改編

この種の活動では、外部人材・活動の導入は必須な事項である

今後、3つ程の入り口で検討したい

- 1) NPOなどによる実践活動の代替・委託
- 2) メンター制度による生徒とのパイプ役の導入
- 3) シンクタンク機能を果たす外部人材の受け入れ

学校評議員等の導入への 反省点

学校の経営に関わる評価などを中立的におこなう
役割は果たしたが、

実際の授業実践の改善までには至れていない。
教育経営のプロではないため、素人の良さが活かさない
とただ「お飾り」になりがちである。

例えば、都が行っている「学校支援コーディネーター制
度」のような活かせる人材の導入が今必要である。

1) NPO 育て上げネットの事例

キャリア教育や市民性教育の実践ノウハウを提供



明日から一人暮らし!

必要な金額(生活コスト)を考えてみよう!

実施日: 年 月 日() 年 組 番 氏名:



キミの1か月の給料は20万円だと仮定して、一人暮らしに必要な生活費を予想して記入しよう。

生活費の内訳(項目)	キミの予想金額	相場の金額
家賃 ※一人暮らしに必要な家賃は?		
水道・光熱費 ※水を使った料金と下水道料金/電気とガスの使用料		
食費 ※家の食事を作る材料費		
衣服費 ※洋服や下着を買うための費用		
交際費・その他 ※外食代や友だちへのプレゼント代など		
通信費 ※携帯電話・家の電話・インターネット接続費など		
交通費 ※定期代を除く。外出する時の電車賃など		
国民健康保険 ※安心して病院へ行ける国の医療保険制度(保険証)		
国民年金(全国一律) ※病気や怪我、老後を支える国の運営制度(年金手帳)		
所得税 ※個人の所得(収入)に対してかかる税金		
住民税 ※いま、住んでいる地域で互いに支えあう税金		
貯金 ※欲しいものを買うために、もしもの時のために		
1か月の合計金額		

給料の20万円から、
1か月の合計金額を引いてみよう

→どうなる?

明日から一人暮らし！ 必要な金額(生活コスト)を考えてみよう！

実施日： 年 月 日() 年 組 番 氏名：



キミの1か月の給料は20万円だと仮定して、
一人暮らしに必要な生活費を予想して記入しよう。

生活費の内訳(項目)	相場の金額	補足
家賃 ※一人暮らしに必要な家賃は？	53,310円	※全国平均(大学1年生、自宅外住) 1人1泊の平均(札幌)5万1870円、東京(5万1770円)、名古屋(4万9000円)、大阪(5万1300円)、福岡(5万4850円)、京都(5万2950円)、札幌(4万9550円)、神戸(5万1170円)、仙台(4万9550円)、札幌(4万9550円) ※東京大学(2019年度)の調査結果(平均5万3000円)
水道・光熱費 ※水を使った料金と下水道料金/電気とガスの使用料	7,797円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) 水道料金：1843円、電気料：3642円、ガス料：2702円 ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
食費 ※家の食事を作る材料費	24,263円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
衣服費 ※洋服や下着を買うための費用	4,066円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
交際費・その他 ※外食代や友だちへのプレゼント代など	62,182円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
通信費 ※携帯電話・家の電話・インターネット接続費など	7,600円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
交通費 ※定期代を除く。外出する時の電車賃など	4,137円	※全国平均(単身世帯のうち20世帯) ※東京(総務省「家計調査(単身世帯) 平成17年」)
国民健康保険 ※安心して病院へ行ける国の医療保険制度(保険証)	12,100円	※東京都中野区在住 ※年収240万円(月20万円×12ヶ月)の場合 月保険料：3万2200円+所得割(前年所得80万1500円×7.82=14万9920円)÷12=1万2100円(月額)
国民年金(全国一律) ※病気や怪我、老後を支える国の運営制度(年金手帳)	14,140円	※平成19年4月から平成20年3月まで
所得税 ※個人の所得(収入)に対してかかる税金	3,760円	※月収20万円の場合 課税所得：1万5000円-社会保険料控除(2万9240円)=1万3760円 ※源泉徴収控除額より所得控除3760円(国庫70円)源泉徴収控除額(源泉)
住民税 ※市、住んでいる地域で互いに支えあう税金	10,080円	※東京都中野区在住 年収240万円(月20万円×12ヶ月)の場合 課税所得：180万円-基礎控除：33万円=147万円 所得割：4000円+所得割：147万円×10%＝12万1000円(年額)÷12=1万0080円(月額)
貯金 ※欲しいものを買うために、もしもの時のために…		
1か月の合計金額	203,435円	

給料の20万円から、
1か月の合計金額を引いてみよう

→どうなる？

2)メンター制度の有効性

キャリアアドバイザーなどに企業の若手社員や 大学院生を導入 – BBSの役割

表2-6 職場における学習の多様性と体系(ミネソタ州)

職場における学習の形態	実施期間	単位認定者資格*
青少年訓練制度 Youth Apprenticeship	長期***	要
コオペラティブ教育 Cooperative Work Experience		
有給インターンシップ Paid Internship		
地域学習(心身に障害のある生徒) Community Based		
メンターシップ Mentorship**	長期/短期****	不要
無給インターンシップ Non Paid Internship		
地域奉仕活動 Service-Learning		
ジョブシャドウ Job Shadowing	短期*****	
職場見学 Worksite Field Trip		

注 *州教育委員会による「職場における学習の単位認定者」としての資格(endorsement)

** 生徒が関心をもつ職種に従事する社会人をメンターとして選任し、社会人・職業人としての指導・支援をおこなうもの。メンターは商工会等における人材バンクへの任意登録者から選任されることが多い

****最低1学期間、通常は1学年あるいはそれ以上にわたって継続的になされる学習

*****「長期」の場合の単位認定には、有資格者があたることが望ましい

*****1学期あたり40時間またはそれ以下

資料 Department of Children, Families & Learning, *Connecting Youth to Work-Based Learning: Blueprint for a Quality Program*, 2003, p.23, p.30

3) 実践に関わる助言者の導入

外部の視点を入れると同時に、実情を熟知してもらうこと
例えば、キャリアコンサルティング

別表1 能力評価試験に係る能力基準項目

I キャリア・コンサルティングの社会的意義に対する理解	
1 社会・経済的動向とキャリア形成支援の必要性の認識	技術革新の急速な進展等様々な社会・経済的な変化に伴い、個人が主体的に自らの希望や適性・能力に応じて、生涯を通じたキャリア形成を行うことの重要性和、そのための支援の必要性が増してきたことについて十分に理解しているか。
2 キャリア・コンサルティングの役割の理解	キャリア・コンサルティングは、職業を中心にしながらも個人の生き甲斐、働き甲斐まで含めたキャリア形成を支援すること、また、個人が自らキャリアマネジメント（自立／自律）できるように支援すること、さらには、個人と組織との共生の関係をつくる上で重要なものであること等、その役割、意義について十分に理解しているか。 キャリア・コンサルティングは、個人に対する相談支援だけでなく、キャリア形成やキャリア・コンサルティングに関する教育・普及活動、環境への働きかけ等も含むものであることを十分に理解しているか。

トランジッション教育の実践

進路多様校における高大連携のキャリア教育



県立田奈高校（中田正敏校長）と、中央大学の古賀正義教授らのグループが、高校生のキャリア教育推進を研究する共同事業をスタートさせ、6月7日に第1回目の授業を、田奈高校で行った。背景には、卒業生の約30%が進路未定となっている田奈高校の生徒らに、キャリアについての認識を深めてもらおうという狙いもある。

5. 生徒の「自分づくり」を可能にする 社会資源の提供へ

生徒の自己形成・自己構築は、さまざまな他者との、さまざまな方法による相互作用からしか生まれない。

自分で気づく・知ることが基本なのである。

今日、学校はこうした機会を若者に提供しうる
数少ない貴重な機関となっている。

他者からの社会的承認が人をつくるとすれば、持続的で日常的な学校のさまざまな実践の価値は改めて評価できるといえる。

排除型社会のリスクを回避するために 社会参加に向けた実践を

排除型社会の構造は、リスクに出会い、一度その中に埋め込まれると抜け出せない感覚を多くの人々に醸成する。

今日のキャラ化する子どものコミュニケーション(土井隆義2010)にも、「自分を傷つけない」=「脆弱な自分への自信を守る気分」が読み取れる。キャラを演じる世界から、社会的自己を見出す主体化の契機としての社会参加はどのようにして可能となるだろうか。「不気味な自分」とも向き合える力はどこから生まれるか。

共感してくれる他者を探す文化を「セラピーカルチャー」(エリオット2001)と呼ぶが、こうした子どもたちに寄り添って、内面的な問題の発見や原因探しにただ巻き込まれることなく、課題の改善のための、人的・物的資源の掘り起こしと地域との連携を検討していける活動にならなくてはなるまい。

生徒・保護者に受け入れられるシステム による実践を

しかしながら、理念論に偏った市民性の教育はいまや生徒に受け入れられないであろう。

評価(個人内評価を含む)の質的な保障や、実践の意義の説明責任などいくつかの段取りを踏んで行わないとこれまでの経験学習の轍を踏むことになりかねない。

また、実践的な活動の予測を越えた創発的な力を大切にしないと、徳目論にもなりかねない。

こうした眼を養う機会を、教師にも確保してほしい。

そのことで、教師もまたコミュニケーション能力を培う機会を得られると感じている。

このような機会を頂いたこと。
ご清聴に、感謝いたします

